

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要

(赤城・馬門地区活性化計画)

計画主体名	計画期間
栃木県 <small>まのし</small> 佐野市 栃木県(代表)	平成27年度～平成30年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
栃木県農政部農村振興課	028-623-2363	028-623-2337	noson-sinko@pref.tochigi.jp
佐野市産業文化部農政課	0283-61-1162	0283-62-8929	nousei@city.sano.lg.jp

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化	1年	設定する目標は計画区域における農地整備事業着手までの年数とし、以下により求めることとする。 $\text{計画区域における農地整備事業着手までの年数(年)} = \text{事業実施(平成27～29年度)後、農地整備事業の着手(平成30年度)までの年数(年)}$
事業活用活性化計画目標の設定根拠 本地区の農地は整形されているが、約10aの小区画農地が多く、分散錯圃の状況にある。また、農業水利施設は老朽化が進み、土砂さらいや草刈りなどの維持管理、水管理等に多大な労力を要しているばかりか、道路も狭小なため、大型機械の搬入等が困難など、生産性が低い農地状況となっている。 このため、農地整備事業を導入し、農作業の効率化に伴う生産コストの低減など、経営規模拡大のメリットを活かすことのできる生産条件を整えることにより、地域の担い手となる農業後継者の育成を図るとともに定住促進と地域の活性化を目指す。 なお、農地整備事業の実施に当たっては、調査、計画、換地作業及び施工のすべての部門にわたって基本となるべき地形図の作成と、地区内農地等の状況を調査し地域の実情に合わせた営農構想を作成する農用地等集団化事業の実施が必要であり、農地整備事業の円滑な導入を計画目標とする。計画目標は、計画区域における農地整備事業着手までの年数であるため、増加率を1年とした。		
事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
事業活用活性化計画目標の設定根拠		

II 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望額 (千円)	交付額 算定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性
基盤整備(農用地等集団化)	馬門	経営体育成促進 換地等調整 (地区内農地等状況調査、合意形成促進、地区内アンケート調査、地域営農構想作成、換地設計基準作成、経営体育成方針作成)	58ha	H27～H28	佐野市	3,800	1,899	1/2	1,900	地区内の分散化された農地の集団化を行い、担い手や後継者の確保と育成を図り、定住化に資するために経営体育成促進換地等調整事業及び地形図作成事業を実施し、農地整備事業の円滑な導入を図る。
基盤整備(地形図作成)	赤城	地形図作成	51ha	H27	佐野市	2,700	1,350	1/2	1,350	
基盤整備(農用地等集団化)	赤城	経営体育成促進 換地等調整 (地区内農地等状況調査、合意形成促進、地区内アンケート調査、地域営農構想作成、換地設計基準作成、経営体育成方針作成)	43ha	H28～H29	佐野市	3,000	1,500	1/2	1,500	
合 計						9,500	4,749		4,750	

Ⅲ 他の施策との連携に関する事項 ……………該当なし

(交付対象事業別概要)

連携する施策名	事業メニュー名	地区名	連携する施策と交付対象事業の関連性等

